

「子どもと防災体験 by らいとぴあ 21×阪大」

に参加しませんか？

らいとぴあ 21 と阪大の学生による共催イベントです。
楽しく「防災」を体験してみませんか？

前回のまもりんピックの大好評につき・・・今回はなんと！
「実際の体験」を想定し、自分たちの住む「まち」での災害を想定しながら、楽しく防災ができちゃいます！
大人も子どもも楽しみながらあっという間に学べる時間です！

- ・日時：7月2日（日）午後3時から8時半まで
- ・場所：らいとぴあ 21 の体育館（15時に館内集合）＊雨天決行
- ・持ち物：水筒、帽子
- ・当日のプログラム

時間	内容
15:00～17:00	まちを歩いて危険なところに気づこう！
17:00～18:00	まちを歩いて気付いたことを発表しよう！
18:00～19:00	段ボールで避難スペースを作ってみよう！
19:00～20:00	非常食を作ってみよう！食べてみよう！
20:00～20:15	実際に避難場所で寝てみよう！
20:15～20:30	今日一日をふりかえろう～

*大人向けの防災プログラムもありますので、親子一緒に参加されることも可能です。

*風通しの良い、動きやすい服装でお越しください。

*午後8時半まで参加される場合は保護者の方のお迎えをお願いいたします。

お問い合わせ先：osakauni88@gmail.com（学生担当：澤井）

matsusayu@raipi.org(らいとぴあ 21 担当：早見/川田/松村)

TEL 072-722-7400

お申し込みはこちら！

切り取り線

お名前（子ども／保護者）： _____

ご連絡先： _____

こちらの切り取り線部分をらいとぴあの職員にお渡しください。
直接電話でご連絡いただいても構いません。

私たちが所属している大阪大学「未来共生イノベーター博士課程プログラム」とは？

国籍、民族、言語、宗教、性差、性的指向、病歴、障がい歴、年齢差…

現在、「多文化」が示す属性はこれまでより多様なものへと変化しています。さらにグローバル化の名のもとに、多様な社会的背景を持ったひとびとが様々な文脈の中で接触する機会が加速度的に増加しています。

このような中、本プログラムは、他者と他者とが互いに認め合い、助け合い、高め合い、新たな価値や利益を生み出すことができる、斬新な共生モデルを具体的に草案・実施できる知識・技能・態度・行動力を備えた実践家・研究者である「未来共生イノベーター」を育成することを目的にしています。

未来共生とは、これまでの多文化共生が意味していた、互いが対等な関係を築きながらひとつのコミュニティに併存する、というレベルを超えた、新しい未来型共生モデルです。

私たちが取り組む「プラクティカルワーク：プロジェクト・ラーニング」とは？

未来共生プログラムでは、自ら専攻する高度な専門性に加えて、他者に対する深い理解を伴う敬意（respect）にもとづき、共生モデルを具体的に草案・実施できる知識・技能・態度・行動力を身につけるため、プログラムの核として、プラクティカルワークを位置づけています

プラクティカルワークは、文字どおり「実践の現場」に出て行くことであり、東北被災地でのコミュニティ・ラーニング（1年次夏季）、関西地域での公共サービス・ラーニング（1年次後期）とそれを基にしたプロジェクト・ラーニング（2年次前期）、海外インターンシップ（3年次後期）、キャリアを想定したフィールド・ラーニング（4年次）などプログラムを通して継続的に実施されています。

現場のひとびとと協働でプロジェクトを立案し、実施することを通して、共生をめぐる諸問題に実践的に対処する経験を積むという狙いのもと活動させていただいています。

昨年から、上記の「未来共生プログラム」の一環として暮らしづくりネットワーク北芝およびらいとぴあ 21 のみなさんと関わらせていただいております。



RESPECT

Revitalizing and Enriching Society through
Pluralism, Equity, and Cultural Transformation

